

LESSON 07

第7回 情報科教育法

生成AI授業案の発表

発表を通して授業案を改善する

稲垣 俊介 山梨大学 教育学部 准教授

ここまでの流れ

今日の目的は、次に直す場所を明確にする

第5回

ラフを作る

生成AIを題材にした
授業のラフ案を作る

第6回

整える

問い・場面・活動・提出物を整
える

第7回

発表する

授業案を発表し、
改善点を見つける

今日は、発表を通して次に直す場所を見つけます。

今日の流れ

発表・記録・コメント・修正方針までを1セットにする

- ① 最初の15分で提出・準備
- ② じゃんけんで発表順を決める
- ③ 1人ずつ発表する
- ④ 聞き手はフォームに記録する
- ⑤ よい点と修正点を伝える
- ⑥ 発表者は修正方針を書く
- ⑦ 次回に向けて改善点を決める

最初の15分

提出・準備タイム

やること

- ① 今日発表するPowerPointを提出する
- ② 現時点の版でよい
- ③ PowerPointのノート欄を確認する
- ④ 中心発問・活動・提出物が見えるか確認する

他の人の発表中に自分のスライドを編集しない。

発表順

準備後に、じゃんけんで決める

- ① 準備タイムで全員が一度提出する
- ② 発表順をじゃんけんで決める
- ③ 決まった順番で進める
- ④ 発表が始まったら、聞き手に集中する

順番が後でも、発表中の編集はしない。

発表の基本ルール

1人20分枠

- ① 発表 15分程度
- ② 記録 2分
- ③ コメント 2～3分
- ④ 発表者の修正メモ 1分

説明だけでなく、一部実演を入れる。

発表で必ず話すこと

まだ迷っている点も、改善の出発点にする

- ① 対象
- ② 中心発問
- ③ 高校生に見せる場面
- ④ 判断が分かれるところ
- ⑤ 生徒の活動
- ⑥ 生徒の提出物
- ⑦ 教師として気をつけること
- ⑧ まだ迷っている点

聞き手の役割

聞き手は、評価者ではない

見る観点

- ① 中心発問は考えたくなるか
- ② 場面は具体的か
- ③ 活動は問いにつながっているか
- ④ 提出物から学びが見えそうか
- ⑤ 自分の授業案に取り入れたい点はあるか

コメントの型

よい点を1つ、修正点を1つ

よいと思った点は、〇〇です。

さらによくするなら、
〇〇をもう少し具体化するとよいと思いました。

修正点は批判ではなく、改善提案として伝える。

発表者が書くこと

コメントを、改善方針に変える

- ① いま聞いて納得したコメント
- ② 次に直すところ
- ③ 直す優先順位
- ④ まだ迷っているところ

発表1

記録・コメント・修正メモまで行う

発表者: _____

聞き手 フォームの「発表1」に記録する

発表後 記録 → コメント → 発表者の修正メモ

発表2

記録・コメント・修正メモまで行う

発表者: _____

聞き手 フォームの「発表2」に記録する

発表後 記録 → コメント → 発表者の修正メモ

発表3

記録・コメント・修正メモまで行う

発表者: _____

聞き手 フォームの「発表3」に記録する

発表後 記録 → コメント → 発表者の修正メモ

自分の発表を振り返る

コメントを受けて、改善の優先順位を決める

- ① うまく伝えられた点
- ② 説明してみても足りないと感じた点
- ③ コメントを受けて直したい点
- ④ 次に直す優先順位

中心発問・場面・活動・提出物・ノート欄・説明の仕方

次に直すことを決める

1つに絞ってもよい

- ① 中心発問
- ② 場面
- ③ ジレンマ
- ④ 生徒の活動
- ⑤ 生徒の提出物
- ⑥ PowerPointのノート欄
- ⑦ 説明の仕方

今日のまとめ

発表は、授業案をよくするための時間
発表は、完成度を見せるためだけのものではない

- ① 自分の考えを外に出す
- ② 他者に見てもらう
- ③ 問いを磨く
- ④ 活動を見直す
- ⑤ 次に直すところを見つける

提出確認

今日の発表を、次の改善につなげる

今日、提出するもの

- ① 発表に使ったPowerPoint
- ② 発表記録フォーム
- ③ 修正方針

次回 今回の授業の制作完成
コメントをもとに授業案を直す